

## 岡山大学農学部の学科名称並びに入学定員の変更（増員）について（構想案）

本学農学部総合農業科学科では、2026 年度 4 月より以下のとおり学科名称を新たに「農学科」に変更することについて、文部科学省に届出を予定しています。また、入学定員を 22 名増員し、142 名とするとともに現行の 4 コース教育体制から、5 プログラム教育体制に移行することを計画しています。

## 1. 学科名称変更の理由

変更前：総合農業科学科

変更後：農学科

本学農学部総合農業科学科では、これまで学科名称に「農業科学」を用いておりました。しかし、本学部学科で学ぶ学問は「農業」に限らず、生物資源の探究・利用や生態環境の保全なども含むため、より包括的な「農学」という名称が適切と考えました。そこで、より実態に即した名称とするため、「農学科」へと名称を変更する予定です。

## 2. 入学定員の増員（22 名）

変更前：120 名

変更後：142 名

2026 年度学校推薦型選抜 I 募集方法 B の募集人員を現行の 19 名から 23 名に、一般選抜（前期日程）の募集人員を現行の 82 名から 100 名とする予定です。なお、入学者選抜方法の変更予定はありません。

## 3. コース制からプログラム制に見直し

## 現行コース制

農学部総合農業科学科 (入学定員 120名)
農芸化学コース
応用植物科学コース
応用動物科学コース
環境生態学コース

## プログラム制

農学部農学科 (入学定員 142名)
生物生産プログラム
農芸化学プログラム
植物科学プログラム
動物科学プログラム
環境科学プログラム



※ 2 年次から各プログラムに分かれます。

これまでの4つのコースを基盤とするプログラムに加え、「生物生産プログラム」を新設し、食料の持続的生産やアグリビジネスの海外展開など、社会情勢やニーズに対応した学びを提供します。

また、プログラム横断的な授業科目群として、2年次、3年次に「国際展開モジュール」と「デジタル農学モジュール」を設けます。「国際展開モジュール」では、法学部・経済学部と連携し、国際法、貿易、国際市場などについて学び、国際的に活躍するための素養を身につけます。また、「デジタル農学モジュール」では、工学部と連携し、ICTやAIを活用したスマート農業を学び、最新技術を農業分野に応用する力を養います。

本学農学部はこれらの新たな教育体系を通じて、時代の変化に対応した教育を実施します。

詳細は後日、本学のHPにて公表予定です。

なお、以上の計画は現時点のものであり、今後変更となる場合があります。